

*本冊子に掲載している内容は、
一部変更となる場合があります。

文部科学省検定済教科書 高等学校地理歴史科用

46 帝国 地総-707

高校生の 地理総合

G E O G R A P H Y



おもしろい！ わかりやすい！ ためになる！
くらしが見える教科書

帝国書院

人々のくらしから、世界を学ぼう！



教科書 p.51



教科書 p.112



教科書 p.122

2



教科書 p.130

3

おもしろい！ わかりやすい！ ためになる！

くらしが見える教科書



高校生の地理総合

令和5(2023)年度発刊
地総-707
AB判 234ページ

■ QRコンテンツ

簡単な操作でGISを活用した学習ができる「アクセスWebGIS」のほか、動画や用語解説、一問一答、統計資料などのデジタルコンテンツを収録。

*詳細は本冊子p.32-33および帝国書院ウェブサイトをご覧ください。

■ 関連教材

指導資料やデジタル教科書・教材、準拠ノートなどの関連教材が充実。

*詳細は本冊子p.34-35および帝国書院ウェブサイトをご覧ください。

● 新科目「地理総合」のポイント

■ 学習の目的 —社会で役立つ実用的な資質・能力を身につける新科目として必修修化—

- ①持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察すること。
- ②グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察すること。
- ③地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得すること。

出典：高等学校学習指導要領解説 地理歴史編

■ 地理 A と地理総合の内容の比較

地理 A の内容	地理総合の内容
(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界
ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	→ (1) 地図や地理情報システムと現代世界
イ 世界の生活・文化の多様性	B 国際理解と国際協力
ウ 地球的課題の地理的考察	→ (1) 生活文化の多様性と国際理解
(2) 生活圏の諸課題の地理的考察	→ (2) 地球的課題と国際協力
ア 日常生活と結び付いた地図	C 持続可能な地域づくりと私たち
イ 自然環境と防災	→ (1) 自然環境と防災
ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査	→ (2) 生活圏の調査と地域の展望

●大項目はA~Cの3つに編成されたが、中項目は地理Aの内容が活かされている。

特色 1

世界各地のくらしが見える

「生活文化」

本冊子
p.8-17

特色 2

世界と自分のつながりがわかる

「地球的課題」

本冊子
p.18-21

特色 3

災害時に役立つ実践的な力が身につく

「防災」

本冊子
p.22-27

特色 4

地理的な知識・技能が身につく

「地図とGIS」

本冊子
p.28-29

見開き構成

本冊子
p.30-31

QRコンテンツ

本冊子
p.32-33

関連教材

本冊子
p.34-35

地理学習の基礎をしっかり押さえられる

豊富な事例で理解が進む構成

↓教科書 p.2-3

もくじ

多彩な世界……………巻頭 1
多様性に富む現代に暮らす私たち……………1

もくじ……………2
本書の使い方……………5

1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界

1章 地図や地理情報システムと現代世界

1節 地球儀と地図……………6	SKILL 5 階級区分図のつくり方……………19
1 地球上の位置と地上の現象……………6	SKILL 6 地理院地図の利用……………20
2 経度の違いと時差……………8	
3 球体と平面の世界……………10	
2節 地図と地理情報システム……………12	
1 地図の種類……………12	
2 地理情報システムの利用……………14	
SKILL 2 地形図の見方と利用……………16	
SKILL 3 グラフのつくり方……………17	
SKILL 4 統計地図の見方……………18	

2部 国際理解と国際協力

1章 生活文化の多様性と国際理解

序説 生活文化の多様性……………36	事例1 産業①経済発展による生活文化の変化 —東アジア—……………72
1 生活文化を考察する視点……………36	1 多民族国家における経済発展 —中国—……………74
1節 世界の地形と人々の生活……………38	2 多様な食文化とその変化 —中国—……………76
1 生活と地形の関わり……………38	3 巨大な人口と暮らしの変化 —中国—……………78
2 河川がつくる地形と人々の生活……………40	4 都市生活と広がる格差 —中国—……………80
3 海岸の地形と人々の生活……………42	5 経済発展を支える産業と生活の変化 —韓国—……………82
4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活……………44	事例2 結びつき①他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 —東南アジア—……………84
SKILL 7 地形図からみた地形と土地利用……………46	1 季節風の影響を受ける生活文化……………86
2節 世界の気候と人々の生活……………48	2 海上交易の歴史と民族共存の工夫……………88
1 生活と気候の関わり……………48	3 農産物の輸出と生活環境の変化……………90
SKILL 8 雨温図の見方……………50	4 経済発展に伴い変わる生活……………92
SKILL 9 景観写真の読み取り方……………51	事例3 宗教・歴史①ヒンドゥー教と生活文化の関わり —インド—……………94
2 熱帯の気候と人々の生活……………52	1 ヒンドゥー教と共にある生活……………96
3 乾燥帯の気候と人々の生活……………54	2 食文化と食料生産の変化……………98
4 温帯の気候と人々の生活……………56	3 急速な経済発展と宗教への影響……………100
5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活……………58	事例4 自然環境①乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 —中央アジア・西アジア・北アフリカ—……………102
3節 世界の産業と人々の生活……………60	1 乾燥した風土のなかで育まれた多様な文化……………104
1 生活を支える農業の発展……………60	2 乾燥地域で生まれた宗教と生活への影響……………106
2 生活を支える工業の発展……………62	3 豊かな石油資源と生活の変化……………108
4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活……………64	事例5 宗教・歴史②植民地支配の歴史と生活文化の変化 —サハラ以南アフリカ—……………110
1 宗教・民族・言語の多様性……………64	1 植民地支配の影響と多様な文化……………112
2部1章のまとめ①……………66	2 植民地支配によって変化する産業と食文化……………114
5節 多様な生活文化と地理的環境……………68	3 経済的自立に向けて変化する生活……………116
1 国際理解を深めるために……………68	
2 世界からみた日本の生活文化……………69	

2部2章のまとめ②……………158	
アクティビティ 楽しい海外旅行を計画しよう！……………160	

- 「生活文化」単元では、地理学習の基礎となる学習項目はもちろん、世界各地の生活文化を学べる事例を充実させ、地理学習に興味や関心がわく！
- 「地球的課題」や「防災」単元では、アクティビティやSKILLページで具体的に学べる！

1部1章
地図の基礎からGISの活用方法まで習得できる。

1部2章
さまざまな地図から世界の結びつきを考察できる。

2部1章
臨場感あふれる写真資料と本文で、世界各地の人々のくらしが見える。

本論で基礎的な学習項目を押さえられる。
事例では、テーマ学習を深められるよう、10の事例を掲載。
本論の後ろに事例をまとめる構成で、扱う事例を選択しやすい。

世界各地の生活文化の学習をする前に、日本と世界の生活文化の特徴について共通点や相違点をみだす視点を紹介したページを設置。

2章 地球的課題と国際協力

序説 複雑に絡み合う地球的課題……………162

1 地球的課題と解決に向けた目標……………162	事例6 宗教・歴史③伝統の継承と生活文化の関わり —ヨーロッパ—……………118
1節 人口問題……………164	1 古い街並みとキリスト教文化……………120
1 人口の増加と少子化・高齢化……………164	2 伝統的な食文化と地域による違い……………122
SKILL 10 人口ピラミッドの読み取り方……………165	3 物を大切にする文化と環境への配慮……………124
2 地域で異なる人口問題と取り組み……………166	4 地域統合と生活の変化……………126
2節 食料問題……………168	事例7 自然環境②寒冷な気候と生活文化にみられる工夫 —ロシア—……………128
1 飢餓と飽食……………168	1 寒冷地での生活と人々の工夫……………130
3節 都市・居住問題……………170	2 気候に合わせた食文化と生活の変化……………132
1 都市への人口集中……………170	事例8 産業②産業技術の発展と生活文化の関わり —アメリカ合衆国—……………134
2 地域で異なる都市・居住問題と取り組み……………172	1 移民を支える産業や社会……………136
4節 感染症・衛生問題……………174	2 大規模な農業がもたらす食への影響……………138
1 広がる感染症と衛生問題……………174	3 世界に広まった生活様式と最先端の技術……………140
5節 資源・エネルギー問題……………176	事例9 宗教・歴史④開発の歴史と生活文化の関わり —ラテンアメリカ—……………142
1 限りある資源・エネルギー……………176	1 多様な民族によって生まれた独自の生活文化……………144
2 地域で異なる資源・エネルギー問題と取り組み……………178	2 伝統的な食文化と農業開発の歴史……………146
6節 地球環境問題……………180	3 生活に変化をもたらした鉱工業の発展……………148
1 国境を越えて広がる地球環境問題……………180	事例10 結びつき②結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 —オセアニア—……………150
2 地球温暖化と国際的な取り組み……………182	1 多文化社会に基づいた暮らし……………152
2部2章のまとめ……………184	2 移民の影響を受けた食文化と伝統的な生活……………154
アクティビティ SDGsの目標をどうやって達成するか!?……………186	3 強まるアジアとの結びつき……………156

3部 持続可能な地域づくりと私たち

1章 自然環境と防災

1節 日本の自然環境……………188	4節 自然災害への備え……………206
1 日本の自然環境と人々の生活……………188	1 減災への取り組みと被災地への支援……………206
2節 地震・津波や火山活動による災害と防災……………190	SKILL 12 災害の危険度を新旧地形図の比較でとらえる……………208
1 地震・津波のしくみと被害……………190	SKILL 13 ハザードマップの見方……………209
2 地震・津波災害と地域の取り組み……………192	3部1章のまとめ……………210
3 火山の恵みと噴火による被害……………194	アクティビティ 自然災害から命を守ろう！……………212
4 地震・津波や火山活動への対策と共生の道……………198	
3節 気象災害と防災……………200	2章 生活圏の調査と地域の展望……………214
1 さまざまな気象災害……………200	1 地理的な調査テーマの設定……………214
2 気象災害と地域の取り組み……………202	SKILL 14 WebGISを活用した統計地図のつくり方……………216
3 気象災害への対策と備え……………204	2 事前調査と現地調査……………218
SKILL 11 地理院地図で見る自然災害による被害……………205	SKILL 15 身近な地域の変化を新旧地形図の比較でとらえる……………219

さくいん……………224

世界の家畜・鉱産物・農産物……………巻末 1

【使用上の注意】国名には略称を用いています。主な略称は以下のとおり。
中国…中華人民共和國 韓国…大韓民国 北朝鮮…朝鮮民主主義人民共和国

事例

事例

世界各地のくらしが見える「生活文化」

興味関心をもって学習に入れる「事例の舞台 イラストマップ」

↓教科書 p.110

事例5 宗教・歴史② 植民地支配の歴史と生活文化の変化 —サハラ以南アフリカ—

主題 植民地支配の歴史は、人々の生活、宗教や言語といった文化にどのような影響を与えたのだろうか。

植民地支配は、現地の人々の暮らしにさまざまな影響を与え、それらの影響が現在も残っていることが多い。ここでは、植民地支配が人々の生活や文化に与えてきた影響について、歴史や宗教、言語、産業の変化、現在の結びつきなどに着目しながら、サハラ以南アフリカを舞台にみていこう。

○事例の舞台 —サハラ以南アフリカ—

イラストマップ



さまざまな民族が共存していることがわかる。

↓教科書 p.118

事例6 宗教・歴史③ 伝統の継承と生活文化の関わり —ヨーロッパ—

主題 受け継がれてきた伝統や宗教は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。

現代にみられる文化や産業には、古くからの伝統が継承されてきているものも多い。ここでは、伝統の継承と人々の生活や文化との関わりについて、街並みや宗教、食文化、伝統産業、結びつきの変化などに着目しながら、ヨーロッパを舞台にみていこう。

○事例の舞台 —ヨーロッパ—

イラストマップ



学習内容に基づく主題を設置。学習するにあたって、着目すべきポイントがわかる。

アルプス山脈を挟んで、食文化が異なることがわかる。

●「イラストマップ」と事例の関係

本文の前に「イラストマップ」があることで、事例となる地域のイメージを持つことができ、スムーズに学習に入ることができる。

イラストマップ

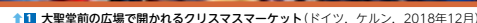
事例6 宗教・歴史③ 伝統の継承と生活文化の関わり —ヨーロッパ— 118

1	古い街並みとキリスト教文化	120
2	伝統的な食文化と地域による違い	122
3	物を大切にする文化と環境への配慮	124
4	地域統合と生活の変化	126

本文

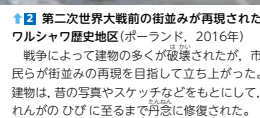
- 衣食住、慣習、宗教などを通して、世界各地の生活文化の多様性を実感できる。
- 世界各地の生活文化が見える臨場感あふれる写真で、地理学習への興味や関心がわく。
- 帝国書院編集部が取材した写真を多数掲載。

試し読み

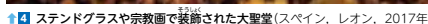
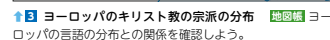


 学習課題 古い街並みや文化の継承^{けいしょう}は、どのように守られてきたのだろうか。
歴史や宗教などに着目しながらみていこう。

ヨーロッパでは歴史や文化を保護しようとする意識が強く、外観を残しながらリフォームした建物が多い。修繕を繰り返しながら保たれる歴史的な景観により、地域固有の伝統や文化を理解しやすいことから、人々に過去の記憶を共有させる役割を果たしている。ヨーロッパには、城や宮殿など繁栄の歴史を示す建物が多い。その一方で、ポーランドのワルシャワ歴史地区のように、戦によって破壊された建物を再建して、多くの犠牲と復興の歴史を今に伝える所もある。これらは**世界遺産**として登録され、国を超えた人類共通の財産として保存されている。

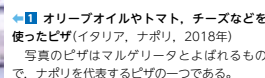


120 Key Words ▶ 世界遺産 キリスト教 カトリック プロテスタント 正教会 ラテン語派 ゲルマン語派 スラブ語派



生活に根づく 歴史を大事にする意識と同様、ヨーロッパに暮らす

キリスト教 人々の生活のなかに深く根ざっている宗教である。キリスト教を信仰する人々の数を示す言葉として、**礼拝(ミサ)**のほか、結婚式や葬式などがある。キリスト教独自の行事がいくつもある(復活祭)は多くの国で祝日になっており、キリスト教は各地で人々の暮らしに深く根ざっている。イタリアやスペイン、フランスなど南ヨーロッパであり、ステンドグラスや宗教画などで表現するために敬虔な信者が訪れる。もともと**ル(肉肉)祭**は、今では観光行事としてよく知られている。北ヨーロッパでは**プロテスタント**など異なる教派がみられる。聖地や聖職を深める人々もいる。また、ヨーロッパでは**正教会**が主流で、イコンや聖像画が特徴である。キリスト教の伝統が重んじられている。キリスト教の宗派と同様に、ヨーロッパやフランス語などの**ラテン語派**、ポーランド語やロシア語などの**スラヴ派**、ギリシア語や共通の文化圏を築き、言語などの違いから地域ごとにさまざまに発展している。



↓2 店頭で売られるさまざまな種類のソーセージ(ドイツ、ミュンヘン、2013年) ドイツでは、成長の早い豚を飼育し、冬の保存食用に加工したソーセージやハムが食べられてきた。

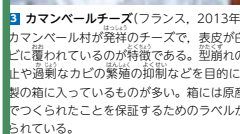
学習課題 各地の伝統的な食文化は、地域ごとにどのような違いがあるのだろうか。自然環境の違いや農業に着目しながらみていこう。

受け継がれる食文化 ヨーロッパでは、地域ごとに異なる自然環境に対応して特長ある農業が営まれ、そして地域に根ざした食文化が発達し現在に受け継がれている。食文化の伝統は料理だけでなく、チーズやハムといった食品づくりにおいても大切にされている。それぞれの産地で伝えられてきた食品づくりの伝統を保護するため、ヨーロッパでは、原産地と製造方法を定めて、それ以外の地域では産地の地名を名乗ることができないようとする制度が設けられている。

アルプス以南の食文化

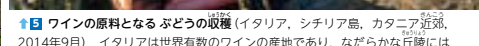
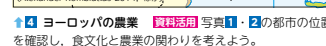
地中海沿岸の南ヨーロッパでは、小麦でつくったパスタや小麦粉を原料としたパンが食卓に並び、稲作も行われており、スペインのバリエアやイタリアのリゾートのような米料理もある。料理にはオリーブの実からとれるオリーブオイルがふんだんに使われるほか、トマトを加えたり、地中海の豊富な魚介類を盛り込んだりした料理も多い。また、食卓の際にはワインがよく飲まれる。

地中海性気候のこの地域では、雨の多い冬に小麦を栽培し、乾燥する夏にワインの原料となるぶどうや、オレンジなどのかんきつ類、オリーブやコルクがしといった乾燥に強い樹木作物を栽培する**地中海式農業**が行われている。晴天に恵まれる夏には、青い空と太陽の光を求めて、



22 Key Words 地中海性氣候 地中海式農業 混合農業 酪農 國營農業

ヨーロッパ以南の食文化の特徴には、気候が大きく関わっていることがわかる。



↑5 ワインの原料となる ぶどうの収穫(イタリア、シチリア島、カタニア近郊、2014年9月) イタリアは世界有数のワインの産地であり、なだらかな丘陵には



アルプス山脈より北の地域から多くの観光客が訪れ、地中海沿岸のリゾートはバカンスを楽しむ人々にぎわう。

アルプス以北の食文化

北西・東ヨーロッパでは、じゃがいもやソーセージ、ビールが食卓に並ぶ。また、小麦のパイよりもライ麦でつくられた色の黒いパンが多い。南ヨーロッパに比べて気温は低いが、年間を通じて雨が降ることから、寒さに強いじゃがいもやライ麦などの食用作物のほかに、大麦やえん麦、てんさいなどの飼料作物の栽培と、豚や肉牛などの飼育を組み合わせた**混合農業**が発達してきた。豚肉を保存するためのソーセージづくりの伝統は今も受け継がれており、ドイツやその周辺ではフランクフルトやウィンナーなど、地域ごとに味や料理方法が異なるさまざまな種類のソーセージがみられる。

ヨーロッパでは、チーズやバターなどの乳製品の種類が豊富なのも特徴である。デンマークやオランダ、フランス北部などには、土地がやみぐみに牧草栽培にあまり適していない地域があり、食料用作物ではなく、牧草を栽培して乳牛を飼育する**酪農**が盛んである。また、大都市に近く交通が発達した地域では、オランダのチューリップ栽培やパプリカの温室栽培など、野菜や花卉などを生産する**園芸農業**が発達している。ヨーロッパから、遠く離れた日本にも航空機で新鮮な乳製品や野菜が届けられている。

確認 アルプス以南と以北でみられる伝統的な料理の例を、それぞれ本文から書き出そう。

説明 食の伝統を守るために、どのような工夫が行われているか、説明しよう。

●本書で追究する事例一覧(全10事例)

教科書ページ	学習テーマ	教科書ページ	学習テーマ
p.72-83	経済発展による生活文化の変化 ー東アジアー	p.118-127	伝統の継承と生活文化の関わり ーヨーロッパー
p.84-93	他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 ー東南アジアー	p.128-133	寒冷的気候と生活文化にみられる工夫 ーロシアー
p.94-101	ヒンドゥー教と生活文化の関わり ーインドー	p.134-141	産業技術の発展と生活文化の関わり ーアメリカ合衆国ー
p.102-109	乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 ー中央アジア・西アジア・北アフリカー	p.142-149	開発の歴史と生活文化の関わり ーラテンアメリカー
p.110-117	植民地支配の歴史と生活文化の変化 ーサハラ以南アフリカー	p.150-157	結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 ーオセアニアー

世界各地のくらしが見える「生活文化」



↑1 大聖堂前の広場で開かれるクリスマスマーケット(ドイツ、ケルン、2018年12月)

1 古い街並みと キリスト教文化

ヨーロッパで古い街並みが
残されてきた理由がわかる。



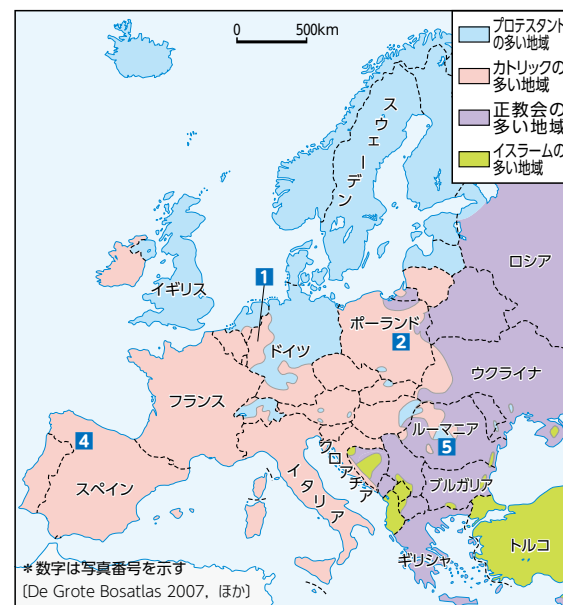
↑2 第二次世界大戦前の街並みが再現された
ワルシャワ歴史地区(ポーランド、2016年)

戦争によって建物の多くが破壊されたが、市民らが街並みの再現を目指して立ち上がった。建物は、昔の写真やスケッチなどをもとにして、れんがのひびに至るまで丹念に修復された。

学習課題 古い街並みや文化の継承は、どのように守られてきたのだろうか。歴史や宗教などに着目しながらみていこう。

現代に残る古い街並み ヨーロッパには歴史ある街が多く、100年以上も前につくられた建物が商店や飲食店などに使われ、石畳の道を自動車が行き交う。街の中心にある教会には礼拝のために人々が入りし、その前の広場には食料品や土産物を売る店が市を開いている。冬になると、クリスマスマーケットが開かれ、クリスマスの飾りや菓子などを売る店が軒を連ね、家族連れでにぎわう。

ヨーロッパでは歴史や文化を保護しようとする意識が強く、外観を残しながらリフォームした建物が多い。修繕を繰り返しながら保たれる歴史的な景観により、地域固有の伝統や文化を理解しやすいことから、人々に過去の記憶を共有させる役割も果たしている。ヨーロッパには、城や宮殿など繁栄の歴史を示す建物が多い。その一方で、ポーランドのワルシャワ歴史地区のように、戦争によって破壊された建物を再建して、多くの犠牲と復興の歴史を今に伝える所もある。これらは**世界遺産**として登録され、国を越えた人類共通の財産として保存されている。



↑3 ヨーロッパのキリスト教の宗派の分布 地図帳 ヨーロッパの言語の分布との関係を確認しよう。



↑4 ステンドグラスや宗教画で装飾された大聖堂(スペイン、レオン、2017年)

ヨーロッパの人々の生活には、キリスト教が根づいていることがわかる。

生活に根づくキリスト教 歴史を大事にする意識と同様、ヨーロッパに暮らす人々の生活のなかに深く根づいているのが**キリスト教**である。キリスト教を信仰する人々の祈りの場として各地に教会があり、礼拝(ミサ)のほか、結婚式や葬式など人生に関わる出来事の舞台にもなる。キリスト教独自の行事がいくつもあり、特にクリスマスやイースター(復活祭)は多くの国で祝日となっており、家族で祝う習慣がある。

キリスト教は各地で人々の暮らしと結びつきながら発展してきた。イタリアやスペイン、フランスなど南ヨーロッパでは**カトリック**が一般的であり、ステンドグラスや宗教画などで豪華に装飾された教会には、礼拝のために敬虔な信者が訪れる。もともと断食前の祭りだったカーニバル(謝肉祭)は、今では観光行事としてにぎわっている。一方、イギリスやドイツ北部など北ヨーロッパでは**プロテスタント**が多く、キリストの像を置かない簡素な教会がみられる。聖書を学ぶことが重要とされ、自宅で信仰を深める人々もいる。また、ルーマニアやブルガリアなど東ヨーロッパでは**正教会**が主流で、イコンとよばれる聖像画に向かって祈るのが特徴である。キリスト教の伝統が重んじられ、断食も行われている。

キリスト教の宗派と同様に、ヨーロッパのさまざまな言語も、スペイン語やフランス語などの**ラテン語派**、英語やドイツ語などの**ゲルマン語派**、ポーランド語やロシア語などの**スラブ語派**の三つに大きく分けられる。キリスト教という共通の文化圏を築いてきたヨーロッパでも、宗派や言語などの違いから地域ごとにさまざまな文化が形成されている。



↑5 教会でイコンに向かって祈る人(ルーマニア、2016年) イコンは、教会だけでなく各家庭にも飾られ、アクセサリとして身につける人もいるなど、人々の暮らしに深く関わっている。

確認 キリスト教の三つの宗派と、主に信仰されている国や地域を本文から書き出そう。

説明 ヨーロッパ各地で古い街並みが残されているのはなぜか、街並みを保全する意義とともに説明しよう。

臨場感あふれる写真資料と 具体的なくらしに触れた本文

↓教科書 p.124-127



1 高級ブランドの店が集まるアーケードで買い物を楽しむ人々(イタリア、ミラノ、2010年)

3 物を大切にする文化と環境への配慮

学習課題 物を大切にする文化は、工業や環境保全とどのように関わってきたのだろうか。人々の考え方に着目しながらみていこう。

物を大切にする文化 ヨーロッパでは、靴やバッグ、時計などを手入れをしながら大切に扱い、壊れても修理をして使い続ける文化が根づいている。物を長く大切に使うことが人々にとっての誇りであり、子や孫に受け継がせることも珍しくない。

そのため、ヨーロッパには職人気質をもった人が多く、靴やバッグなどの革製品をはじめ、服飾品や陶磁器、ガラス製品、家具、時計、楽器など、熟練の職人によって丁寧につくられたものが多い価値を生み出している。特にイタリアでは、ボローニャやフィレンツェを中心とした地域にブランド品をつくる中小企業が集まっており、**地場産業**として世界的に知られている。これらの製品のなかには、今や世界的な高級ブランドへと成長しているものもあり、繁華街ではブランド品を買い求める観光客の姿をよく見かける。

生活に身近な工業製品 ヨーロッパでは、最新の技術による優れた性能と洗練されたデザインを兼ね備えた、自動車や家電製品、インテリアや食器などが、日常の暮らしに潤いをもたらしている。これらの流行や生産技術は世界に発信され、高い評価を得ている。また、その品質や価値は日本でもよく知られており、ドイツやフランス、イタリア

書道や盆栽、アニメーションや漫画など、日本の文化がヨーロッパで受け入れられていることがわかる。



1 章 事例6 産業とヨーロッパ

JAPAN ヨーロッパと日本の文化交流

日本はファッションや食文化、芸術、スポーツなどヨーロッパの文化を幅広く受け入れてきた。一方、ヨーロッパでは、近年、日本の伝統文化として書道や茶道、盆栽が注目を集めているほか、アニメーションや漫画などにも強い関心が寄せられている。フランスで毎年開かれている「ジャパンエキスポ」では日本の文化が幅広く紹介されており、会場は大勢の参加者で熱気に包まれている。

4 大勢の人でにぎわうジャパンエキスポの会場(フランス、パリ近郊、2016年)

アニメーションや漫画、ゲームのキャラクターに扮した人も多い。

4 ヨーロッパ中心部の工業 産業活動 ヨーロッパの工業の中心はどの辺りだろうか。

ヨーロッパでは、18世紀半ばにイギリスで始まった産業革命以来、技術革新や生産の合理化などを進められてきた。20世紀前半まではドイツ**工業三角地帯**とよばれる地域で重工業に医薬品や航空機などの**先端技術産業**が大都市近郊へと移っていった。現在、ヨーロッパには、イギリス南部からドイツ西部ア北部に至る**青いバナナ**とよばれる地域があり、ヨーロッパで最も豊かな暮らしが営まれている。

環境保全の取り組み ヨーロッパでは、さまざまな取り組みが行われ、ペットボトルの飲料などを購入する回収機に入れたと預かり金が返金される。また、**再生可能エネルギー**の導入も力発電が盛んである。こうした取り組みは環境問題に悩まされてきたという背景が発達したドイツは、工場からの廃棄物や大気汚染、酸性雨を原因とする森林破壊は現在も世界に先駆けて環境に配慮した取り組み、ふだんの生活においても、公共

4 地域統合と生活の変化

学習課題 伝統や価値観を共有する国々が一つにまとまることで、人々の生活はどのように変化したのだろうか。国境の自由化に着目しながらみていこう。

国境を越えた日常の暮らし ヨーロッパでは、国境を自由に行き来する暮らしが実現されており、国内旅行の感覚でほかの国を訪ねることができる。国ごとに定められる消費税率の違いによって同じ商品でも価格に差があることから、国境を越えて隣の国に買い物へ行くことも日常的に行われている。また、国によって賃金水準が異なるため、隣の国へ通勤する人も多い。ヨーロッパのほとりの大学の留学も盛んで、大学にはさまざまな国の出身者が集まっている。

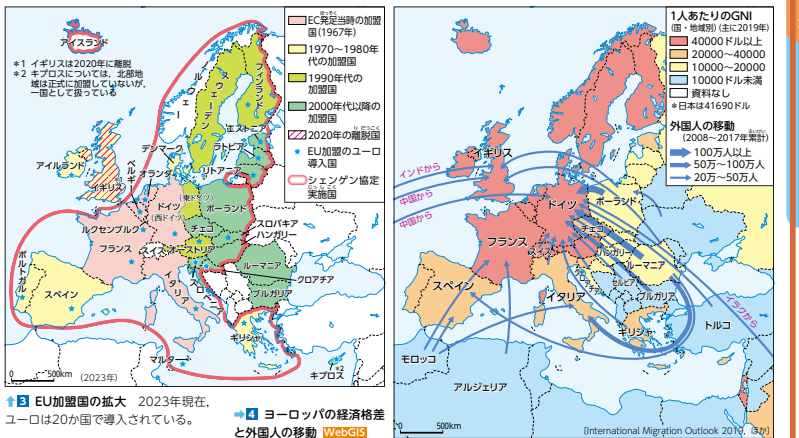
27の国が加盟する**ヨーロッパ連合(EU)**では、多くの国で自由に国境を往来できる**シェンゲン協定**が実施されており、単一通貨**ユーロ**が半数以上の加盟国で流通している。ヨーロッパの国々がEUとしてまとまる背景には、絶えず戦争を繰り返してきた歴史がある。第二次世界大戦後、国の枠を越えた協力関係が強化され、伝統や価値観を共有するEU加盟国が一体となって地域全体の平和と発展を目指している。

生活に身近な外国人 ヨーロッパでは、さまざまな職場で多くの外国人が働いており、ヨーロッパ以外の地域出身の外国人を目にすることも多い。ドイツやフランスなどの西ヨーロッパの国々は、1960年代の経済成長期に、労働者不足を補うため、トルコや北アフリ

最後に、受け継がれてきた伝統や宗教と人々のくらしのつながりをまとめられる。

ヨーロッパで世界的に有名なブランドなどを生む地場産業が発達している背景には、物を大切にする文化が影響していることがわかる。

事例6 産業とヨーロッパ



4 EU加盟国の拡大 2023年現在、ユーロは20か国で導入されている。

4 ヨーロッパの経済格差と外国人の移動 WebGIS

1人あたりのGNI(国・地域別)(2019年)

- 40000ドル以上
- 20000~40000
- 10000~20000
- 10000ドル未満
- 資料なし
- 日本は41690ドル

外国人の移動(2008~2017年累計)

- 100万人以上
- 50万~100万人
- 20万~50万人

カなどから多くの**外国人労働者**を受け入れてきた。また、植民地と宗主国のつながりによって多くの**移民**がヨーロッパにやってきたことや、紛争から逃れてきたアフリカや西アジアなどからの**難民**が増えたことも、ヨーロッパでの外国人の増加につながった。2000年代に経済水準がEU平均を下回る東ヨーロッパの国々がEUに加盟したことで、加盟国間の**経済格差**はますます大きくなった。そのため、賃金の低い東ヨーロッパから高い賃金を求めて西ヨーロッパ諸国に出稼ぎや移住をする人々が増え、特に就業の機会が多いドイツへの移動が目立っている。

共生に向けた取り組み 伝統を重んじるEUにおいて、イスラムの移民や各地からの難民が増えたことで、異なる生活文化や価値観をもつ人々との共生が大きな課題の一つになっている。イギリスでは移民や難民が増加し、EU加盟に伴う財政の負担に対して国民の不満が高まっていたこともあり、独自の経済を発展させるために、EUからの離脱の是非を問う国民投票が実施された。その結果、イギリスは2020年2月に初めてEUから離脱した国となった。ほかのEU加盟国でも、EUよりも自国の経済の発展や社会の安定を優先するべきという声が高まっており、外国人を排除する風潮も目立ってきている。その一方で、移民や難民に言語を教えるなど外国人を支援する個人や団体もあり、共生に向けた取り組みが行われている。

事例の振り返り 受け継がれてきた伝統や宗教は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのか、ヨーロッパを例に説明しよう。

●日本と世界との結びつきの事例を紹介するコラム「JAPAN」一覧(全11テーマ)

教科書ページ	テーマ
p.29	日本のTPP11協定への加盟と生活への影響
p.81	経済的な結びつきが強い中国と日本
p.88	ビジネス化するハラル
p.101	日本の地下鉄技術が変えた生活
p.109	遺跡のロマンを支える日本の技術
p.117	日本からアフリカへ伝える「カイゼン」

教科書ページ	テーマ
p.125	ヨーロッパと日本の文化交流
p.132	交流を深めるロシアと日本
p.137	独自の進化を遂げた日本食
p.145	ラテンアメリカの日系人
p.157	日本人建築家が設計に携わった紙の大聖堂

日本の生活文化と比較して、世界各地の人々のくらしの特徴がわかる

●日本と世界の生活文化における共通点や相違点をみいだすための視点を示した、事例を学ぶうえでのヒントとなるページを設置。

↓教科書 p.70-71



↑1 イギリスにある回転ずし店（ロンドン、2008年）和食のなかでもすしは、その国や地域の人の好みに合わせて形を変え、世界中で愛されている。



↑2 地元の京野菜を売る市場（京都府、京都市、2014年）

① 和食の特徴として、多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重、健康的な食生活を考える栄養バランス、自然の美しさや季節の移ろいの表現、正月などの年中行事との密接な関わり、が挙げられる。

視点
・自然環境から影響を受けた食文化にはどのようなものがあるだろうか。
・グローバル化の影響で食はどのように変化したのだろうか。
・食文化における日本と世界の共通点・相違点には、どのようなものがあるだろうか。

食文化における共通点と相違点
世界の温暖で降水量が多い地域と同様に、日本では古くから稲作が行われ、米が主食とされてきた。また、国土が海に囲まれ、豊かな自然が広がる日本では、多様な食材が手に入る。世界で魚介類を食べる人は多いが、すしや刺身など魚を生で

食べる習慣はあまりみられない。一方で、素材を生かした料理である和食は、海外でも評価されており、ユネスコの無形文化遺産に登録された。

日本では、仏教の影響から江戸時代までは肉食が避けられていたが、明治時代に肉食を含む欧米の食文化が伝わり、現在では食生活における宗教の影響はほとんどない。世界には、豚肉を食べることや飲酒が禁じられたイスラムや、神聖な動物である牛の肉を食べず、さらには不殺生の教えから菜食主義者も多いヒンドゥー教徒がおり、そこには相違点が多いようにみえる。しかし、イスラムやヒンドゥー教徒も鶏肉や羊肉、魚などは食べており、日本の食生活との共通点も多い。

第二次世界大戦以降、日本ではパン食の拡大によって米の消費量が減り、グローバル化のなかで果物や嗜好品の多くを海外から輸入するようになるなど、食文化の違いはさらに縮まりつつある。こうしたなか、日本では食の安全や地元の農家を守る動きもあり、現在は地産地消、すなわち地域の食材を意識的に食べることが推奨されている。



↑3 クリスマスのイルミネーションを楽しむ人々（東京都、渋谷区、2019年12月）



↑4 神社で初詣をする人々（東京都、千代田区、2020年1月）

文化や習慣にみられる共通点と相違点
グローバル化の影響で文化面での共通点は増えてきているが、現在でも日本では独自の文化や習慣が各所に残っている。例えば、住宅内で靴を脱ぐ、湯船を共有するといった古くからの習慣、盆栽や茶の湯といった芸術や文化は外国人の目には興味深く映るだろう。茶の湯から生まれた「おもてなし」の文化は、現在も日本人に受け継がれている。一方、漫画やアニメーション、それらのキャラクターに扮するコスプレなどのサブカルチャーも、日本から世界へ発信されて共通の人気を集めており、新たな日本のイメージを生んでいる。

日本には、6世紀半ばに仏教が、16世紀にキリスト教が伝わった。グローバル化が進んだ現在では、世界のさまざまな宗教を身近に感じることができる。例えば、年末に多くのキリスト教徒と同じくクリスマスを楽しみ、一方で大晦日と正月にはアジアの多くの人々と同じく寺院などへ参拝に出かける。仏教にまつわるお盆の墓参りや、七五三などの年中行事も多くの人が経験してきていることだろう。このように、日本には世界の宗教や文化から取り入れた習慣や行事も多い。その背景には、さまざまな物事には「八百万の神」が宿るという、神道にも通じる日本独特の神の理解があるといわれる。この考えから、物を捨てずに大切にしようとする文化も育まれ、「もったいない」という言葉は世界で共有化されつつある。



↑5 大晦日に寺で鐘をつく人々（岡山県、倉敷市、2018年12月）



↑6 茶道を体験する留学生（京都府、京都市、2008年）

② 川や森、岩といった自然や、雨や雷といった自然現象を敬うことから生まれた、日本独自の宗教のこと。教祖や教典はない。

視点
・日本で続く古くからの習慣にはどのようなものがあるだろうか。
・日本において、宗教を背景とした習慣や行事にはどのようなものがあるだろうか。
・文化や習慣にみられる日本と世界の共通点・相違点には、どのようなものがあるだろうか。

日本の年中行事は、世界各地のさまざまな生活文化と関係していることがわかる。

● **視点** の効果的な使い方

教科書 p.69-71 で身につけた日本と世界を比較する視点をもとに、世界各地の生活文化を学習。

日本と世界の生活文化を比較しながら学習を進めることで、理解がさらに深まる。

具体的な事例を通して、日本と世界の食文化の共通点や相違点が見える。

生徒自身の身近な話題を扱った本文

●生徒自身の身近な話題から、世界と日本のつながりまでイメージができる本文。
地球的課題を自分事として理解できる。

↓教科書 p.174-175



↑1 イタリアの空港で新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の検査を受けるスペインからの渡航者 (ローマ、2020年8月) 新型コロナウイルスの影響で、これまで自由に行き来できたEU諸国 (→p.126) 間の移動の際に検査が必要となった。

4 節 感染症・衛生問題

主題 私たちは、広がりが増す感染症・衛生問題とどのように向き合う必要があるのだろうか。

1 広がる感染症と衛生問題

クローズアップ

新型コロナウイルスと地理情報

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界や日本で感染経路に関する情報が注目されるようになった。日本をはじめ各国では、GIS (→p.14) の技術を使って感染拡大の現状を示したり、GPSの情報を活用して感染者の行動経路や感染者との接触の有無を確認するアプリが開発されたりと、感染症に関する地理情報が活用された。一方で、個人情報保護に関する慎重な意見も出ている。



↑2 WHOのウェブサイトに公開された世界の新型コロナウイルス感染者数

学習課題 感染症はこれまでどのように解決が図られてきたのだろうか。グローバル化や衛生環境に着目しながらみていこう。

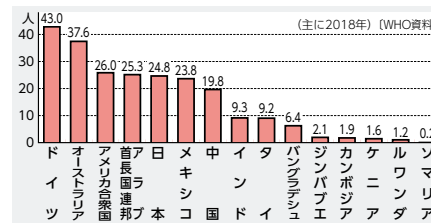
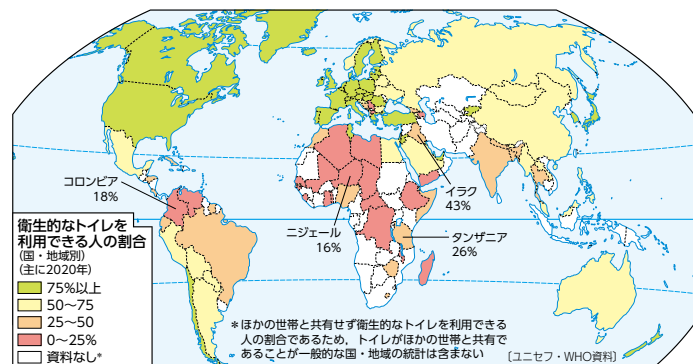
世界中に拡大する感染症

航空機などの交通機関が発達し、グローバル化が進んだ現代では、人や物資の移動は迅速かつ活発になり、**感染症**は以前と比べものにならない速さで広がるようになった。2009年にメキシコとアメリカ合衆国南部で発生が確認された新型インフルエンザは、短期間で日本を含め世界中に拡大した。2014年には西アフリカ諸国、2019年にはコンゴ民主共和国でエボラ出血熱が流行し、世界への拡大が懸念された。また、2019年末には新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が中国で報告され、3か月ほどの間で世界各地に拡大し、国際的な協力体制の重要性を世界の人々に認識させた。

世界保健機関 (WHO) は、このような感染症の流行について常時監視し、各国と協力して流行状況の把握や検疫などの対策をとっている。

人間と感染症との関わり

人類は1万年ほど前に狩猟・採集から農耕や牧畜に移行し、生産される食料が増えるにしたがって、地球上の人口は増加した。人々が寄り集まって集団を形成し、人口密度の高い都市を形成するようになると、感染症が出現した。動物、とりわけ家畜と人間との密接な接触が日常的になることで、それまで動物が保有し



↑4 1万人あたりの医師の数
発展途上国では人口あたりの医師の数が極端に少なく、先進国では予防・治療ができる病気で死に至ることがある。

↑3 衛生的なトイレを利用できる人の割合
衛生的なトイレとは、屋根があり、便槽がコンクリートで固められ、排泄物が地下水に入らず、くみ取れるものをいう。



↑5 イギリスで流行した感染症コレラの調査で作成された地図 (ロンドン、1854年)
医師ジョン・スノーはコレラ患者の広がりを見ながら、原因および感染経路となった井戸を突き止め、コレラ終息に貢献した。



↑6 トイレ後の手洗いの重要性を教えるJICA海外協力隊 (エチオピア、2012年) (今村健志氏)

関連するSDGsの目標

感染症・衛生問題に関連する三つの目標をp.163図2から選んで、番号を書き入れてみよう。



確認 これまでにどのような感染症が出現したか、本文から書き出そう。

説明 新型コロナウイルス感染症が世界的に流行した要因を、グローバル化に着目しながら説明しよう。

ていた病原菌が人間にうつり、感染症を引き起こすようになった。過去には、灌漑用の水路や池に発生した蚊に血液を吸われることで感染する熱帯地域に多いマラリアや、貯蔵する食料に集まるネズミによってユーラシア大陸全土に広がったペストなどが流行した。本来、動物に寄生していた病原菌が人間の病気になる、動物と人間の両方に感染するようになったことから、これらは人獣共通感染症とよばれる。

15~17世紀の大航海時代には、ポルトガルやスペインによって南北アメリカ大陸に天然痘やはしか、インフルエンザが持ち込まれ、免疫をもたない多くの先住民が死亡した。感染症は、歴史的に振り返ると、社会を変えてしまうほどの影響を人類に与えてきた。

水とトイレによる衛生問題

サハラ以南アフリカや南アジア、東南アジアにおける都市のスラムや農村では、ごみが道路や側溝に放置されていたり、地面に穴を掘っただけのトイレが庭や空き地につくられ、トイレの周囲や路上などに排泄物が散乱していたりすることがある。簡易的なトイレでは完全なくみ取りは難しく、雨水が入ることで排泄物があふれたり、地下にしみこんで地下水を汚染したりする。汚染された地下水が井戸を経由して飲み水に使われることで、住民の間でコレラや赤痢などの感染症が流行することもある。安全な水の確保やトイレの普及など衛生環境の改善に向け、国際的な取り組みが行われている。

節の振り返り

これから新たな感染症が流行した場合、どのような対処をしていけばよいのだろうか。あなた自身ができることと、国のレベルで行うべきことを分けて説明しよう。

生徒にとって身近でかつ最新の話題である新型コロナウイルス感染症を切り口に、地球的課題は一国では解決できないことがわかる。

学習した内容を通して、生徒自身ができることを考えられるようになっている。

感染症・衛生問題が、どのSDGsの目標と関連しているか考えることができる。

●「地球的課題」テーマ一覧 (全6テーマ)

教科書ページ	節タイトル 扱っている主な事例
p.164-167	人口問題 ニジェール/デンマーク/日本
p.168-169	食料問題 発展途上国/先進国/日本
p.170-173	都市・居住問題 リオデジャネイロ/ロンドン/日本
p.174-175	感染症・衛生問題 新型コロナウイルス感染症/水とトイレ
p.176-179	資源・エネルギー問題 日本/EU各国/ブラジル
p.180-183	地球環境問題 廃棄物問題/熱帯林の減少/地球温暖化

“自分事”として、地球的課題と国際協力をまとめられるページ

↓教科書 p.184-185

2部2章の まとめ

地球的課題と国際協力

Let's TRY!

1 2部2章を振り返ってみよう！ 教科書の本文を参考に、次の文章に適切な語句を記入しよう。

1・2節 人口問題、食料問題 (p.164～169)

- ☆ アジアやアフリカでは① _____ とよばれる急激な人口増加の状態にある国が多い一方、日本を含む先進国では出生率の低下と平均寿命の伸びによって② _____ が進んでいる。
- ☆ 発展途上国では人口増加に食料供給が追いつかず、これに自然災害や紛争などの政治的混乱が重なり、③ _____ が起こる場合もある。
- ☆ 食料問題の解決に向けては、発展途上国と先進国が協力して、新しい農業技術を開発したり、④ _____ のように販売方法を工夫したりすることが考えられる。

3・4節 都市・居住問題、感染症・衛生問題 (p.170～175)

- ☆ 先進国の都市部では、⑤ _____ や鉄道路線の拡充が進んで、人々が郊外の住宅地に移り住むようになり、1960年代から1980年代にかけて⑥ _____ 現象が急速に進んだ。
- ☆ 高所得層や若い人々が流出した大都市では、都市機能が低下する⑦ _____ 問題が生じている。
- ☆ 大都市には、インフラの整備が行き届かず、居住環境の悪い⑧ _____ が形成されることがある。
- ☆ 衛生的なトイレの普及が行き届いていない都市の⑨ _____ や農村では、⑩ _____ や赤痢などの感染症が流行することもある。
- ☆ 感染症の流行の際には国際的な協力体制が必要であり、⑪ _____ が対策をとっている。



高層ビルとスラム

5節 資源・エネルギー問題 (p.176～179)

- ☆ 石油は欧米の⑫ _____ が独占的に開発してきたが、これに対して産油国では⑬ _____ の動きが高まり、1960年に⑭ _____ が結成された。
- ☆ 1970年代の⑮ _____ による原油価格の高騰や地球温暖化の問題を受けて、自然の力をエネルギー源とする⑯ _____ への転換が進められるようになった。
- ☆ ブラジルではさとうきびを原料とし、ガソリンの代替にもなる⑰ _____ の生産と利用が推進されている。

6節 地球環境問題 (p.180～183)

- ☆ 不適切に廃棄されたプラスチックごみ が海を漂流し、国境を越えた⑱ _____ を引き起こしている。
- ☆ 熱帯林は多様な樹種から構成される森林であり、⑲ _____ が高く、種の宝庫となっている。
- ☆ 化石燃料の燃焼によって排出される二酸化炭素などの⑳ _____ の濃度が上昇し、それに伴い地表の気温や海水の温度が上昇する㉑ _____ が進行している。
- ☆ ㉒ _____ に対し、多国間の国際的枠組みである㉓ _____ が2015年に採択された。
- ☆ 地球規模の課題に直面した今、㉔ _____ の実現に向けて、国際的な協力関係の構築が求められている。



ブラジルの湿地 (パンタナル)

2 2部2章で学習したことを生かして考えてみよう！

解答は
コチラ！



「人口問題」、「食料問題」、「都市・居住問題」、「感染症・衛生問題」、「資源・エネルギー問題」、「地球環境問題」は、それぞれどのように解決していけばよいのだろうか。解決に向かうためのキーワードをそれぞれ2～3選り、線でつなごう。一つのキーワードが複数の問題につながることもある。

解決に向かうためのキーワード

- フェアトレード
- 省エネルギー
- 教育の機会
- フードバンク
- インフラの整備
- パリ協定

地球的課題

- 人口問題
- 食料問題
- 都市・居住問題
- 感染症・衛生問題
- 資源・エネルギー問題
- 地球環境問題

解決に向かうためのキーワード

- 再生可能エネルギー
- 地産地消
- 工場跡地や旧市街の再開発
- 育児支援制度
- ワクチン開発・接種
- パークアンドライド

3 地球的課題の解決策をあなたの生活に当てはめて考えてみよう！

A～Cにあなたの考えを書き込もう。

- A. あなた自身の生活のなかから、「人口問題」、「食料問題」、「都市・居住問題」、「感染症・衛生問題」、「資源・エネルギー問題」、「地球環境問題」といった地球的課題につながる物事を探してみよう。
- B. ②に挙げたキーワードのなかから解決策になりうると考えるものを一つ選ぼう。
- C. Bについてなぜそう思ったのか、理由を説明しよう。

私の生活のなかで地球的課題につながる物事は、

- A. _____ である。
- これを解決するキーワードとして、
- B. _____ を挙げたい。
- なぜなら、
- C. _____ からである。

学習したキーワードを糸口に、地球的課題について見方・考え方を働かせて思考力・判断力を養うことができる。

生徒自身の日常生活を題材にした問いを考えることで、地球的課題を“自分事”として表現することができ、世界と自分のつながりを実感できる。

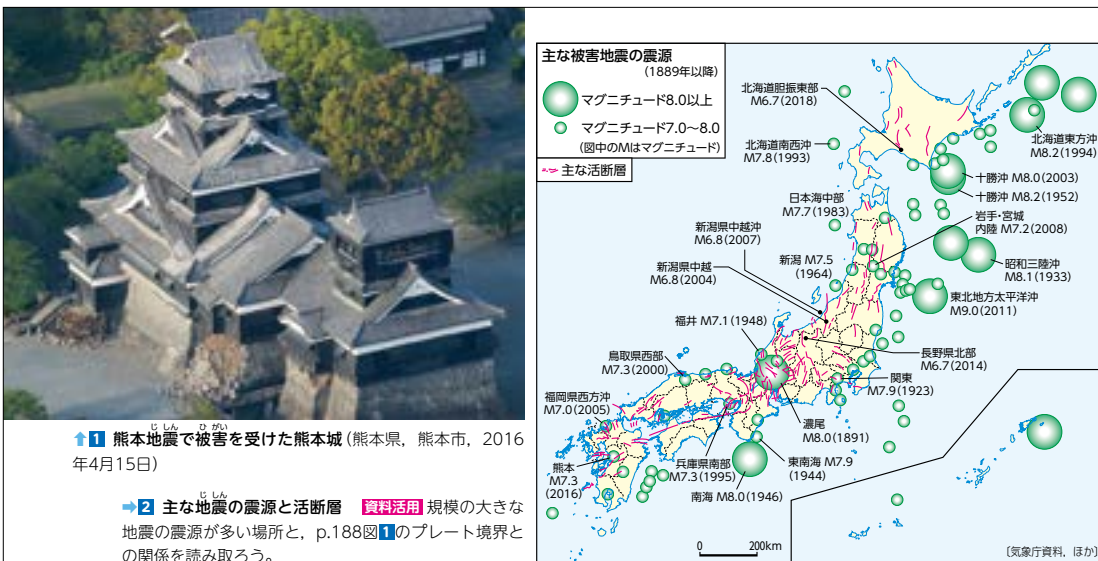
●書き込みながら学習項目を整理できる「まとめページ」一覧(全5テーマ)

ページ	テーマ
p.34-35	1部のまとめ 地図や地理情報システムでとらえる現代世界
p.66-67	2部1章のまとめ① 生活文化の多様性と国際理解 (地形、気候、産業、宗教・民族・言語)
p.158-159	2部1章のまとめ② 生活文化の多様性と国際理解(追究事例)
p.184-185	2部2章のまとめ 地球的課題と国際協力
p.210-211	3部1章のまとめ 自然環境と防災

課題別の穴埋め形式。キーワードを確認することで、地球的課題の概要を整理できる。

ビジュアルな模式図で、自然災害発生のしくみがわかる

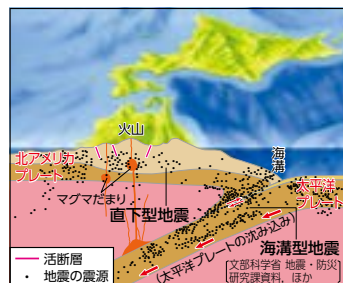
↓教科書 p.190-191



2 節 地震・津波や火山活動による災害と防災

主題 地震・津波や火山活動による災害を防ぐためには、どのような取り組みが必要だろうか。

1 地震・津波のしくみと被害



確認 地震が発生するしくみについて、図4・5を参考にしながら確認しよう。

説明 地震によって起こりうる被害と、被害が起こりやすい場所を説明しよう。

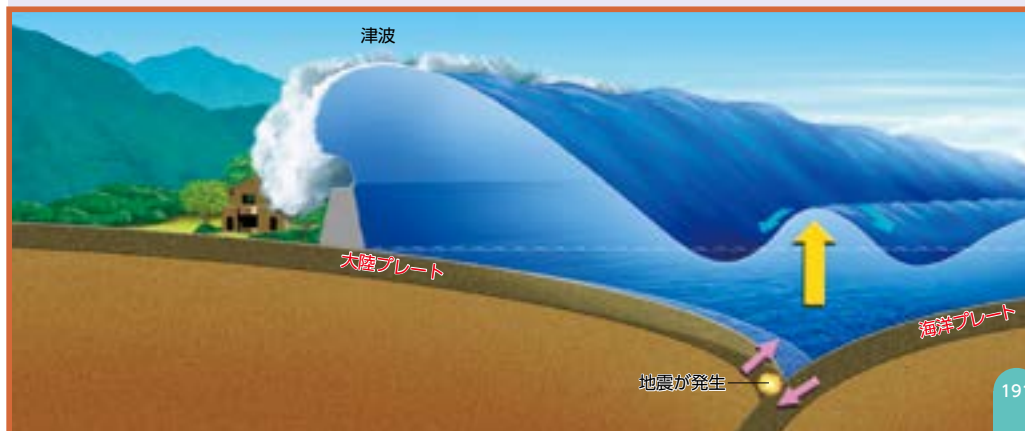
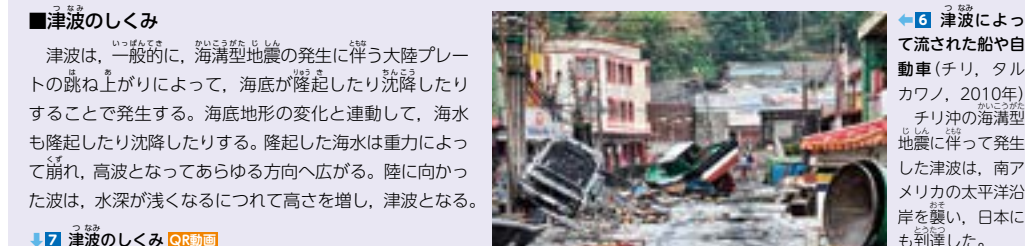
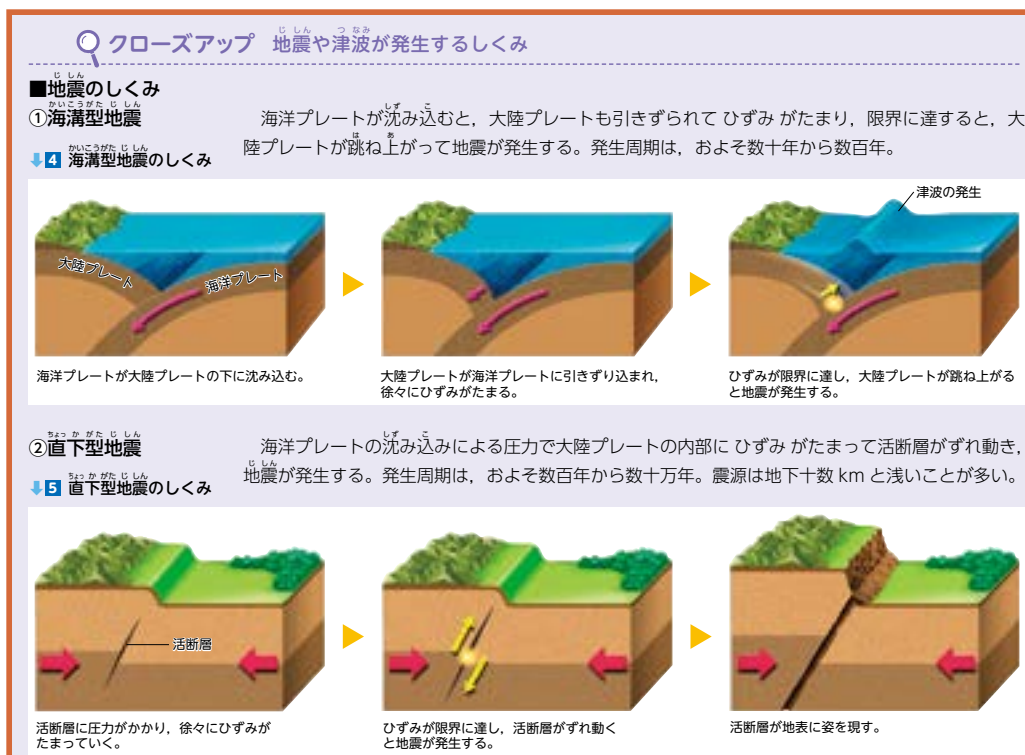
学習課題 地震による揺れの大きさの違いは、なぜ生じるのだろうか。地震が発生する場所や震源からの距離に着目しながらみていこう。

地震の種類と被害の特徴

地震は、プレートの沈み込みや衝突により力を加えられた地殻がひずみを蓄積し、ひずみが一気に解放されるときに生じる。主に二つのプレートの境におけるずれによって起こる地震は海溝型地震とよばれ、2011年の東北地方太平洋沖地震のような巨大地震を引き起こす。一方、単一のプレートのなかにある活断層のずれによって起こる地震は直下型地震とよばれ、1995年の兵庫県南部地震のように、相対的に狭い範囲で被害をもたらす。

地震が発生した場所(震源)における地震の大きさは、マグニチュード(M)で表される。マグニチュードの値が1大きくなると、地震のエネルギーは約32倍になる。また、地震による各地点の揺れを示す指標が震度であり、この大きさが、実際の被害の種類や規模と対応する。マグニチュードが大きくても、震源が深かったり遠かったりすれば、震度は小さくなる。地震の際には、土地の揺れや液状化現象による建物の倒壊、火気が建物やガスに移ることによる火災、山間部での崖崩れや地すべりなどが生じる。さらに海溝型地震では、海底地形が急激に変化することで津波が発生し、海岸地域に甚大な被害をもたらすこともある。

190 Key Words 地震 海溝型地震 活断層 直下型地震 震源 マグニチュード 震度 液状化現象 津波



海溝型地震と直下型地震の発生するしくみへの理解が深まるよう、本文の横にイメージがわく模式図を掲載。

迫力のある模式図によって、津波発生のしくみを視覚的に理解できる。

「防災」単元での主な模式図一覧(全4テーマ)

教科書ページ	テーマ
p.190	主な地震の震源の深さ
p.191	海溝型地震・直下型地震・津波のしくみ
p.195	噴火のしくみ・火山の恵みと火山災害の模式図
p.201	気象災害の模式図

実践的な防災スキルが身につく 作業ページ

↓教科書 p.205

地理院地図の使い方と読み取り方を丁寧に解説。簡単な作業を通して水害への対策を考えることができる。

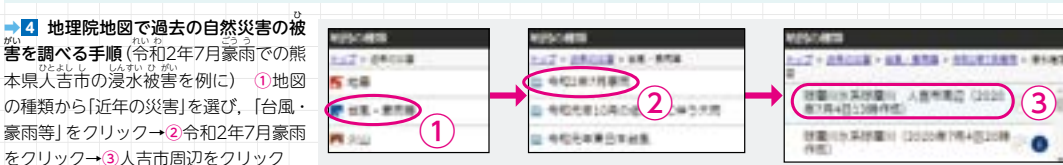


地理院地図で見る自然災害による被害

地理院地図のウェブサイトでは、近年の自然災害における被災地の空中写真や被害の様子を表した地図が公開されている。災害前後の写真や地図を比較することで、被害の範囲や、地形の特徴と被害の関係などを確認することができる。ここでは、2020年7月に発生した熊本県人吉市の浸水被害（令和2年7月豪雨、→p.200写真1）を例に、地理院地図で被害の様子を確認しよう。

Let's TRY

- STEP 1** 図4・5を参考に、地理院地図を使って令和2年7月豪雨での熊本県人吉市の浸水被害の様子を表示させよう。
- STEP 2** 浸水した地域について、標高の傾向と土地利用の特徴を読み取ろう。（ ）



「防災」単元の 防災スキルを身につけられるSKILLページ一覧(全3テーマ)

教科書ページ	テーマ
p.205	地理院地図で見る自然災害による被害
p.208	災害の危険度を新旧地形図の比較でとらえる
p.209	ハザードマップの見方

確認 日本における水害への対策の例を本文から書き出そう。

説明 あなたが住んでいる地域や、あなた自身の気象災害への対策を説明しよう。

行われているのだろうか。場所

205

↓教科書 p.209



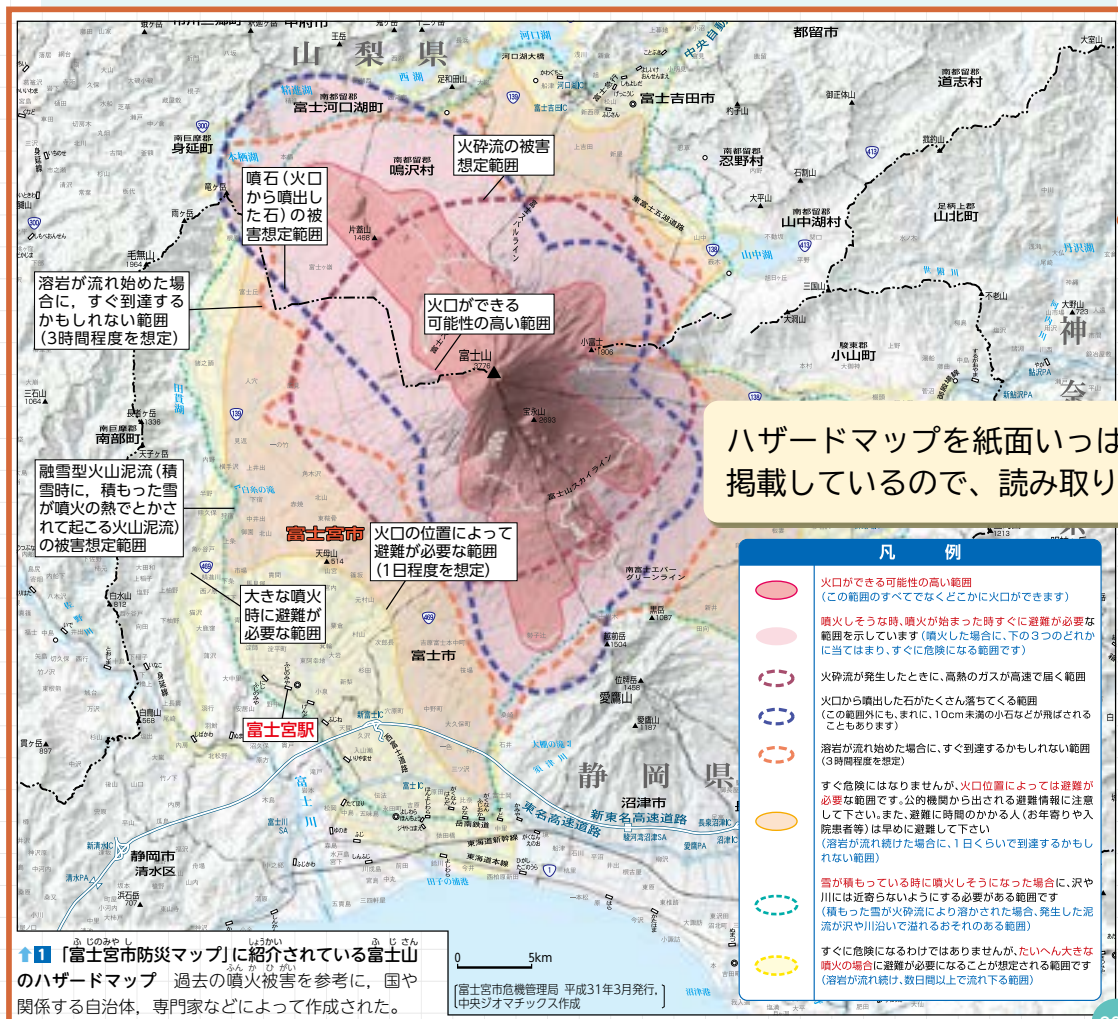
ハザードマップの見方

ハザードマップは、将来生じるであろう災害の範囲や被害状況を予測した地図であり、過去の災害記録や、地形・地質などに関する資料からつくられる。火山や洪水、津波など、災害の種類別につくられ、その地域に暮らす住民の災害に対する意識を高めたり、災害発生時に有効である。ハザードマップを見る際には、自分が居る場所と被害が及ぶ範囲がわかることが重要である。ここでは、富士山のハザードマップを例に、噴火ハザードマップの見方を学ぼう。

具体的な場面を設定した問いで実践的な防災スキルが身につく。

Let's TRY

- STEP 1** 図1から、富士山が噴火した際に想定される被害の種類や広がりを読み取ってまとめよう。（ ）
- STEP 2** 富士宮駅にいるときに富士山が噴火した場合、どのようなことに気をつけるべきか、考えをまとめよう。（ ）



ハザードマップを紙面いっぱい大きく掲載しているので、読み取りやすい。

25

24

アクティビティを通して 思考力・判断力・表現力が身につく

↓教科書 p.212-213

- アクティビティを通して、災害から身を守るためにとるべき行動を考えられる。
- 生徒どうしで、自分が考えた内容を共有したり、比較したりすることで、主体的・対話的で深い学びが実現できる。

●「アクティビティ」ページの流れ

1 具体的な場面をイメージできるイラストマップを用いた問いによって、自然災害に対する思考力を養える。

2 正解のない問いを通して、命を守るための判断力を磨けるほか、生徒の多様な考えを引き出し、議論につなげることができる。

3 最後に、対話を促す問いを設置。ここまでのアクティビティを通して考えたことを生徒どうしで共有や比較することで、学習を深められる。

●思考力・判断力・表現力が身につく 「アクティビティ」ページ一覧(全3テーマ)

教科書ページ	テーマ
p.160-161	楽しい海外旅行を計画しよう！
p.186-187	SDGsの目標をどうやって達成するか！？
p.212-213	自然災害から命を守ろう！

アクティビティ Let's think about it.

Task 3 自然災害から命を守ろう！

自然災害が、いつ、どこで、どれくらいの規模で発生するのかを予測することは難しい。万が一、あなたやあなたの家族の身に危険が迫ったとき、どのような判断をしなければならないだろうか。巨大地震の発生を想定して考えてみよう。

Mission 1 あなたは太平洋に面する海沿いの町に住んでいると仮定しよう。下の地図は、自宅やあなたが通う高校の周辺の様子を表したものである。自宅と高校では、それぞれどのような自然災害の危険があるだろうか。下の表で、当てはまるものすべてに○印を記入しよう。

↑1 自宅や高校の周辺の様子を表した地図

場所	自然災害	地震	津波	がけくずれ・地すべり	洪水	高潮
自宅						
あなたの高校						

Mission 2 1月のある平日の午後4時、あなたが自宅に居るときに、太平洋沖を震源とする巨大地震が発生した。あなたの町では激しい揺れを観測し、40分後に最大10mの津波が到達すると予想されている。さて、あなたは避難に向けてどのような行動をとるべきだろうか。下のA~Hの行動から三つ選び、優先度が高い順に1~3を記入しよう。

あなたの家族設定(地震発生時の居場所): 父(会社) 母(スーパーマーケット) 妹(保育園)
祖母(デイケアセンター) ペットの犬(自宅の庭)

A 近くの店で食べ物や飲み物を買い込む。	E 貴重品や常備薬をまとめてバッグに入れる。
B 近所の人に避難を呼びかける。	F 家族と連絡をとる。
C 自宅に保管していた非常持ち出し袋を用意する。	G ペットの犬を連れていく準備をする。
D 自分や家族の防寒着をまとめてバッグに入れる。	H 災害・避難情報を確認する。

Mission 3 津波の到達まであと30分。自宅から避難場所へ向かう。避難場所の候補はA~Dの4か所である。それぞれ異なる立地条件を考慮して一つ選び、津波が到達する前に避難場所へたどりつけるよう、避難経路を図1に書き込もう。また、なぜその避難場所・避難経路を選んだのか、理由を書き込もう。

- A 海に面した小山: 自宅から最短距離にあるが、海に近くて道も狭く、途中で高低差30mの急な上り坂がある。
- B 山のふもとにある運動公園: 海から離れているが、最短経路の道は川沿いを通る。
- C ビルの屋上: 海にやや近いが、建物は13階建てと高く、屋上にはヘリポートもある。
- D あなたの高校: 自宅から遠いが、海から離れており、標高が約30mの高台にある。

選んだ避難場所: _____

避難場所と避難経路を選んだ理由: _____

Mission 4 あなたと家族は無事に避難場所にたどりつくことができたが、町は津波の被害を受けた。これから避難場所での生活を送るうえで、どのようなものが必要になるだろうか。Mission2に記された季節や家族構成などを考慮して、誰にどのような支援を求めたいか、あなたの考えを書き込もう。

《支援を求める相手》

《求めたい支援の内容》

【支援を求める相手の例】

- ・周辺の市町村(地方自治体)
- ・都道府県(地方自治体)
- ・自衛隊
- ・被災していない地域 など

対話 あなたが選択した行動や避難場所・避難経路について、クラスやグループで紹介し合ってみよう。そして、あなたの選択を見直すべきか、もう一度考えてみよう。

作業を通して地図やGISの使い方が身につく

↓教科書 p.20-21

- 地図やGISの活用方法を丁寧に解説。
- 簡単な操作でGISを活用した授業ができるQRコンテンツ「アクセスWebGIS」を用意。

*「アクセスWebGIS」の詳細は本冊子p.32をご覧ください。



▲QRコンテンツはこちらから

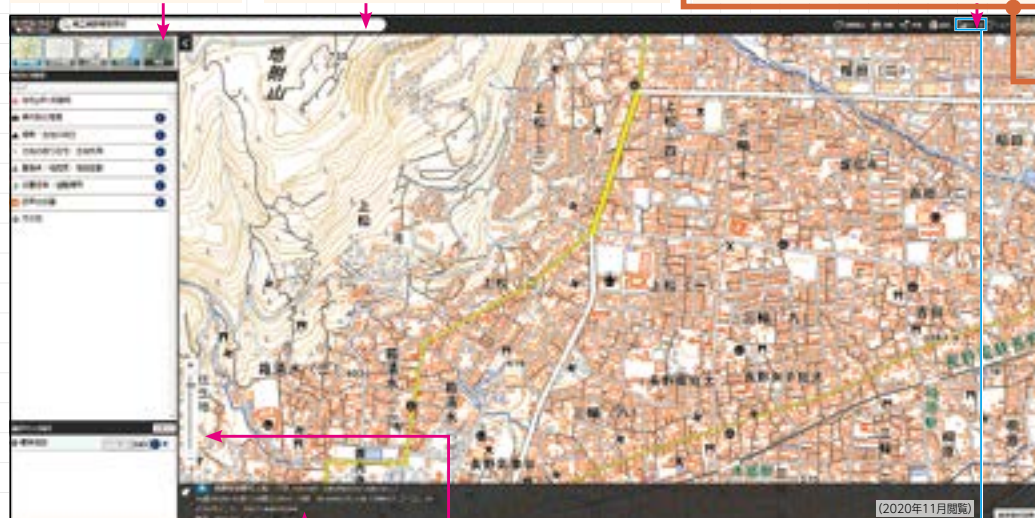
地理院地図の利用

国土院は、地形図、写真、標高、地形分類、災害情報など、日本の国土の様子をインターネット上で見ることができる**地理院地図**を公開している。地図を拡大していくと、2万5千分の1地形図(→p.13図5)と同じように表示される。背景の地図(ベースマップ)にはさまざまな種類があり、その上に空中写真や主題図を重ねることもできる。地理院地図は**WebGIS**(→p.14)の一つであり、デジタル地図ならではの多くの機能をもっている。ここでは、地理院地図を使ってできることを確認しよう。

地図の種類 地図の種類や空中写真などを選ぶことができる。

検索バー 入力ボックスに、地名や住所、緯度・経度などを入力すると、その位置が地図上に表示される。

ツール 距離や面積を計測したり、立体(3D)地図や断面図を作成したりすることができる。



↑1 地理院地図のウェブサイト

メニュー 図の中心地点の住所や緯度・経度、標高などが表示される。

拡大・縮小 バーを動かすことで、拡大したり縮小したりすることができる。

Let's TRY①

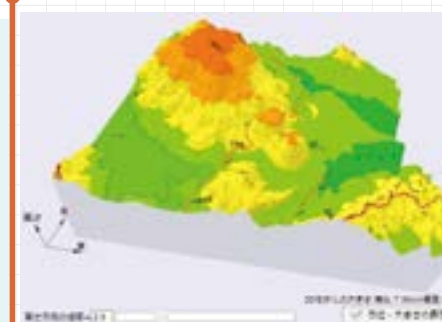
- STEP 1** 地図を動かして、あなたが通う学校を表示させよう。また、検索バーに学校名を入力して、地図に表示させよう。
- STEP 2** 学校のある場所の緯度と経度、標高を読み取ろう。
緯度 北緯()度()分
経度 東経()度()分
標高 ()m
- STEP 3** 図2を参考に、ツールの「計測」機能を使って、自宅や最寄りの駅から学校までの距離を測ろう。
距離 ()km



↑2 最寄りの駅から学校までの距離を測る例

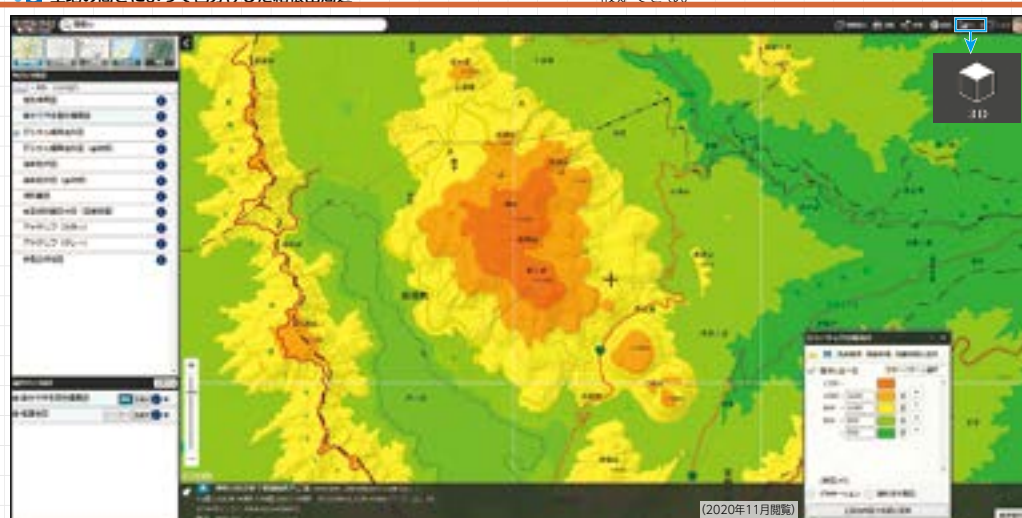
Let's TRY②

- STEP 1** 検索バーに身近な山の名前を入力して、地図に表示させよう。
選んだ山()
- STEP 2** STEP 1で選んだ山の山頂の標高を読み取ろう。
標高()m
- STEP 3** 地図の種類から、「自分で作る色別標高図」を選び、区分の数や色を工夫して、土地の高さによって色分けされた地図をつくろう。
- STEP 4** ツールの3D機能を使って、図4のような3D地図をつくろう。



↑4 図3をもとに作成した箱根山周辺の3D地図。さまざまな方向から見ることができ、土地の高さの倍率も任意の値に設定できる。

↑3 土地の高さによって色分けした箱根山周辺



STEP UP

ツールの「並べて比較」機能を使うと、地図と空中写真を並べたり、異なる年代の空中写真を比較したりすることができる。

右のように、空中写真だと土地利用が判別しにくい場合は、地形図で確認するとよい。新旧の空中写真を並べると、街並みの変化をとらえることもできる。

→5 名古屋市中心部の地図と空中写真を並べた例



実際に作業しながら地理的な見方・考え方が身につく。

丁寧な解説で、地理院地図の基本的な操作方法がわかる。

使い方の説明を見ながら、WebGISを活用して学習を深められる。

- 「地図とGIS」単元の作業をしながら学習できるSKILLページ一覧(全6テーマ)

教科書ページ	テーマ
p.9	等時間帯を読み解く
p.16	地形図の見方と利用
p.17	グラフのつくり方
p.18	統計地図の見方
p.19	階級区分図のつくり方
p.20	地理院地図の利用

学習しやすいさまざまな工夫

↓教科書 p.112-113

臨場感あふれる写真で、生徒の興味関心を引き出す。

“見開き単位”で着目ポイントを示した学習課題を設定。要点を確実に押さえられる。

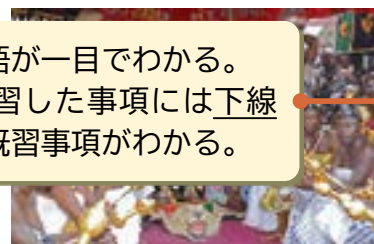
見開きの重要な用語が一目でわかる。特に、中学校で学習した事項には下線を付しているため既習事項がわかる。

地図帳を活用した作業を提示。

1 植民地支配の影響と多様な文化



12 らくだ市場(ソマリア、2017年4月) ソマリアでは多くの人々がらくだの遊牧に携わっており、保有頭数が富を象徴するともいわれる。



13 ガーナにある王国(クマシ、2018年) ガーナの内陸部に繁栄したアシャンティ王国は、現在もガーナ政府が認める正式な王国として存在しており、首長の発言は影響力をもっている。地図帳 クマシの位置を確認しよう。

112 Key Words 奴隷貿易 植民地 宗主国 人為的国境

学習課題 植民地支配の影響は、人々の生活や文化のどのようなところにみられるのだろうか。植民地下の統治の違いや宗教に着目しながらみていこう。

マリジェンネでは、モスクの前で月曜日が開かれ、色鮮やかな衣装をまとった人々にぎわう。この地では紀元前から人が住み、10世紀ごろからは交易の拠点として栄え、数々の帝国が勃興・衰退を繰り返した。その繁栄をもたらした交易は、サハラ砂漠を南北に往来するらくだの隊商が担っていた。しかし15世紀以降、アフリカ各地でポルトガルやスペイン、イギリス、フランスなどによる奴隷貿易が行われ、その結果、労働人口は激減し、固有の文化や社会は大きく変化した。その後、19世紀末までにほぼ全域がヨーロッパ諸国の植民地となり、農産物や鉱産物の供給地となった。イギリスは各地の首長や伝統的な政治制度を利用する間接統治を進めたため、その植民地だったガーナやウガンダ、ザンビアなどの国では、今でも多くの王国が残っている。一方、マリやギニア、ニジェールなどの国では、フランスが直接統治をとり、首長や伝統的な政治制度を排除して同化政策による植民地の統治を推し進めた。その結果、フランスの植民地であった国々では、共通語としてフランス語を話す人が多く、街並みや洋服などにも影響がみられる。

旧宗主国と結ぶ航空路線は多く、ヨーロッパから大勢の観光客がアフリカを訪れる一方、ロンドンやパリにはアフリカからの移民が多い。

●本文ページの学習の流れ

本冊子p.8-9
参照。

見通し

主題

その節や事例の学習内容に基づく課題。

学習課題

その見開きの資料や本文を考察していくための課題。

振り返り

確認

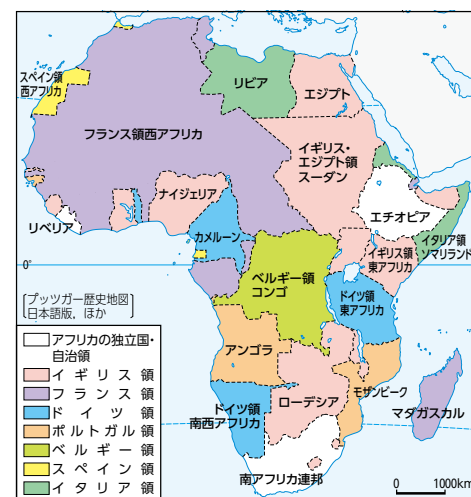
説明

その見開きの学習内容を振り返る問い。本文や図表から確認する「確認」と、自分の言葉で表現する「説明」がある。

節の振り返り

事例の振り返り

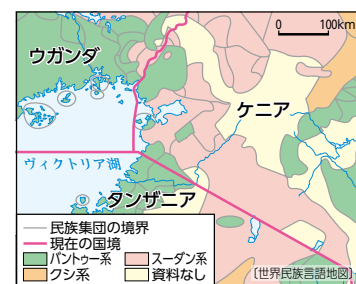
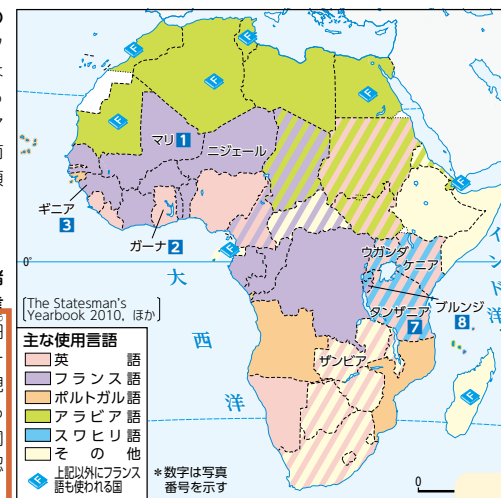
その節や事例の学習内容を振り返る問い。



4 1914年のアフリカ アフリカ北西部にはフランス領だった国が多く、アフリカ東部・南部はイギリス領だった国が多い。

5 アフリカ諸国の主な使用言語

資料活用 18 宗主国であるヨーロッパの国々と現在使われている言語の関係を図4と併せて確認しよう。



16 人為的国境によって分断された民族

世界の街かど 公用語として広まったスワヒリ語

かつてアラブ商人がアフリカ東海岸の人々と交易をしていたころ、アラビア語と現地の言葉が混ざりスワヒリ語が生まれた。アフリカ東部の各民族はそれぞれ異なる民族言語を話していたため、スワヒリ語が共通語として広まった。独立以降、ケニアやウガンダなどではスワヒリ語と英語が普及し、タンザニアでは国語としてスワヒリ語による学校教育が行われている。一方で、各地域ではスワヒリ語や英語の使用により、民族言語を理解できない若者が増えている。

7 さまざまな言語で書かれた看板(タンザニア)

資料を読み解くためのポイントを提示。

本文を補完する側注解説。
*側注で解説している用語は、すべてQRコンテンツにも掲載しています。

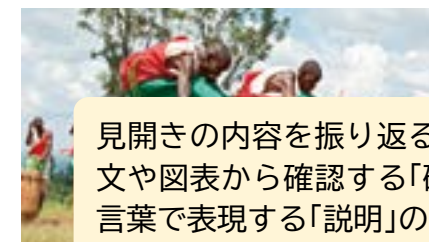
多様な民族とそれぞれの文化

アフリカ大陸には1600もの民族が存在し、多くの言語が話され、また各民族は独自の宗教や音楽、踊りなど豊かな文化をもっている。アフリカの多くの国は1960年代に独立したが、その際の国境は、植民地時代にヨーロッパの宗主国によって緯線や経線をもとに引かれた人為的国境が多い。その結果、異なる言語をもつ多くの民族をまとめあげる形で国家建設が進められ、民族の分断や、各国内における民族間の対立・内戦が起こることもある。

宗教については、自然や祖先霊、精霊などを崇拝する多種多様な信仰がみられる。一方、ムスリム商人がサハラ砂漠を越えて広めたイスラームや、植民地時代にヨーロッパからの入植者が広めたキリスト教も信仰されており、これらが土着の宗教と混ざって、新たな信仰の形をつくることもある。

アフリカにおいて音楽の演奏は、純粋な娯楽としてだけではなく、踊りと結びつき、人の誕生や成人の祝い、病人の治療などの儀礼のなかで行われる。なかでも太鼓は世界で類をみないほどに種類が多い。

1 植民地など主権をもたない非独立地域を領有・支配する本国のこと。



見開きの内容を振り返る問いとして、本文や図表から確認する「確認」と、自分の言葉で表現する「説明」の2つを設置。

14 プルンジの打楽器演奏隊 演奏は誕生や葬儀などの儀式の一環で行われる。

確認 イギリスとフランスの植民地における統治の違いを、それぞれ本文から書き出そう。

説明 アフリカにおいて、宗主国の影響を受けた文化と独自の文化はどのような形で残っているか、説明しよう。

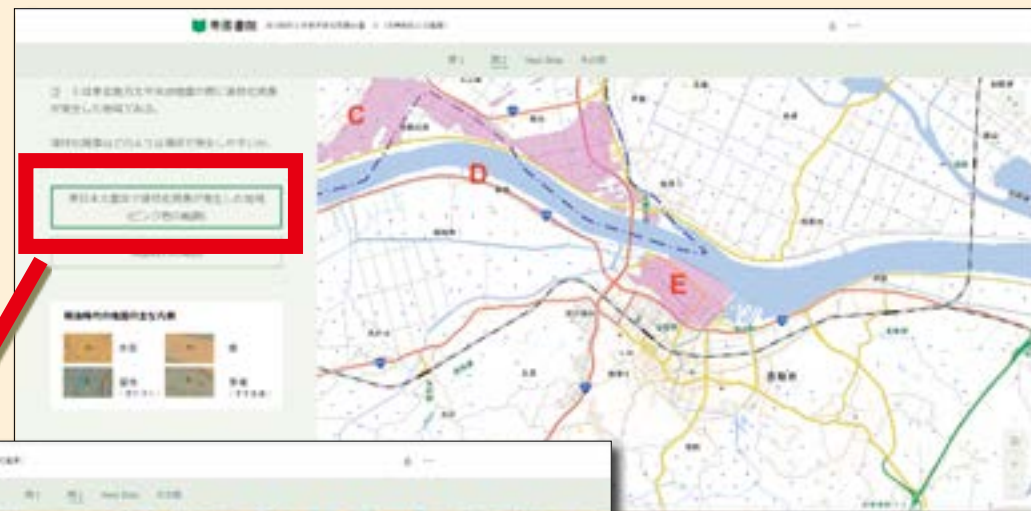
資料を活用しやすいよう、対応する図番号を本文に表記。

授業や自学自習ですぐに活用できる！ 教科書に関連したデジタルコンテンツ

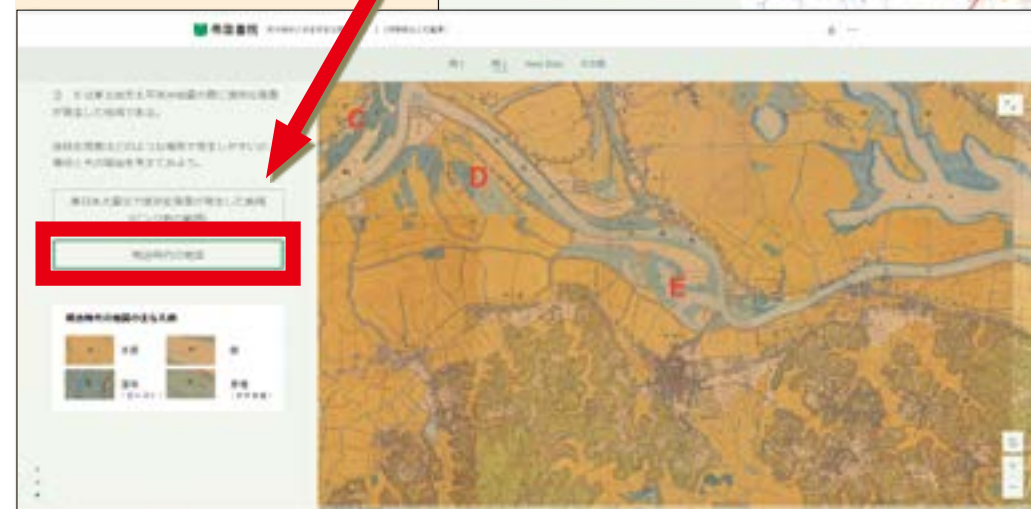


学習を深められる「アクセスWebGIS」

教科書に **WebGIS** のマークがある用語には、関連するWebGISコンテンツを掲載。
簡単な操作でGISを活用した学習ができる。各テーマに対応するワークシートも用意。
ウェブブラウザ上で閲覧できるので、特別なアプリケーションをダウンロードする必要がありません。



ボタンをタップするだけで、
簡単に主題図を切り替えられる。



◀▲「河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)」の例

	テーマ
1	GISを使ってみよう1 (デジタルの地図と地球儀)
2	GISを使ってみよう2 (地理情報システムの活用)
3	GISを使ってみよう3 (さまざまな統計データ)
4	植民地支配の影響が残るアフリカの産業
5	EU統合による工業や社会への影響
6	産業の発展を支えてきた移民の力
7	世界の食卓に影響を与える農業
8	火山地形の読み取り方
9	河川地形とさまざまな気象災害1 (扇状地)
10	河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)

▲「アクセスWebGIS」のテーマ

▶準備ワークシートもダウンロード可能

アクセスWebGIS ワークシート
「河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)」

コンテンツURL: <https://storymaps.arcgis.com/stories/7d072020b940b0a0b05d814b30c033>

問題1 河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)について、下の問いに答えよう。
① 扇状地地形は、河川が平野に流れ込むときに、河川の両側に堆積物が堆積して形成される。このような地形を形成する堆積物は、河川の両側に堆積する。このような地形を形成する堆積物は、河川の両側に堆積する。このような地形を形成する堆積物は、河川の両側に堆積する。

場所	地形	理由
A		
B		

問題2 河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)について、下の問いに答えよう。
① 河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)について、下の問いに答えよう。



▶作業のやり方を解説した短い動画を11個用意。

●教科書p.5「QRコンテンツ」や教科書の裏表紙に掲載しているQRコードを読み取ることでアクセス可能。

*QRコードを読み取り、表示されたウェブサイトへアクセスした際には、通信料がかかる場合があります。
*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



▲QRコンテンツはこちらから



地形や自然災害などに関連する動画



扇状地や氷河地形の形成プロセス、津波や火砕流発生のおきなどを解説した計13点のアニメーションによって学習内容の理解が深まる。
*教科書に **QR動画** のマークがある用語に関連する動画を掲載。

◀「扇状地」の例



一問一答

重要用語の確認ができる。
323問掲載。



用語解説

学習内容の理解に役立つ。
*側注解説で取り上げた用語を含め、350語掲載。



統計資料

約160種類の世界や日本の統計を掲載。
円グラフや統計地図で表現することも可能。



学習に役立つリンク集

地理院地図やRESASなど学習に最適な外部リンクを掲載。

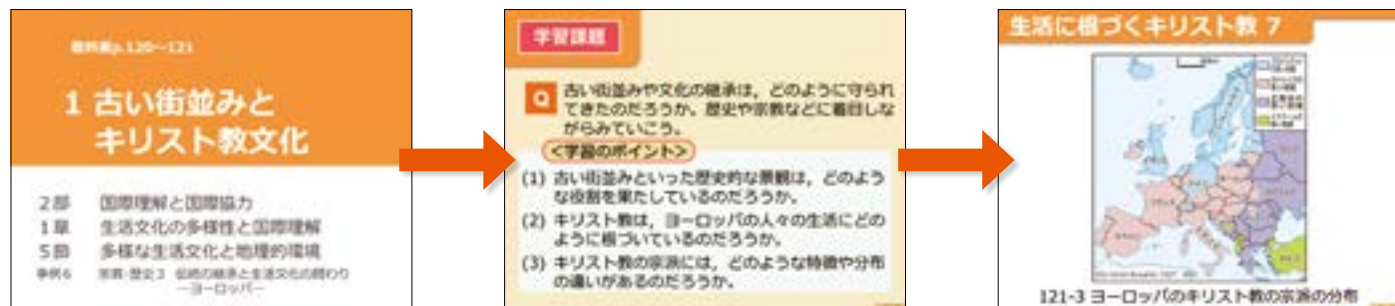


① 指導資料

書 名	内 容
高校生の地理総合 指導資料 指導用教科書 定価：4,400円(税込)	・教科書本体の見開きページの縮刷版をもとに構成した、教科書と同じデザインの教師用指導書。 ＊こちらの販売形態は指導用教科書のための単品販売です。 下記で紹介している指導書Webサポートはご利用いただけません。
高校生の地理総合 指導資料 Webサポートコンテンツ付 定価：24,200円(税込)	①指導用教科書 ②指導書Webサポート＊ ◆授業スライド(.pptx/Googleスライド) ◆授業プリント(.docx) ◆見通し・振り返りシート(.xlsx) ◆特設ページワークシート(.docx) ◆評価問題例(テスト例)(.docx) ◆映像資料 ◆年間指導計画案・評価規準例(.xlsx) ◆板書例(.txt) ◆教科書紙面(.pdf) ◆教科書本文(.txt) ◆教科書掲載図版 〈カラー/モノクロ〉(.jpg) ＊Webサポートは、帝国書院ウェブサイトからデジタルコンテンツをダウンロードいただけるサービスです。 ③付録冊子 ・Webサポート紹介冊子 ・GISサポート冊子

指導書 Web サポートの例

- ▼授業スライドのイメージ 教科書 1 見開きにつき 10 ～ 20 枚を用意。
先生ご自身で加工も可能。



Googleスライドも
ご利用いただけます

◀授業プリントのイメージ

授業スライドの赤字の部分に穴埋めしているので、スライドと連携して活用できる。

◀教科書紙面のイメージ

教科書紙面の PDF データ。電子黒板に投影可能。

② 学習者用デジタル教科書

書 名	内 容
学習者用デジタル教科書 アプリ版 定価：1,100円 クラウド配信版 定価：1,320円(税込)	①教科書紙面(紙の教科書と同内容) ②拡大・縮小・書き消し、保存機能 ③特別支援教育対応機能 ・リフロー*表示や総ルビ、白黒反転、読み上げの機能を搭載。 *書体や文字サイズ、行間、余白などを自由に変更して表示する機能です。

③ 教科書準拠ノート

書 名	内 容
高校生の地理総合ノート(書籍版) 定価：660円(税込)	☐ 教科書完全準拠の構成で、着実に知識が身につく。 ☐ 教科書掲載図版を用いた作業問題を通して、理解が深まる。 ☐ 全13か所の充実したSKILLページで実践的な地理的技能が身につく。
デジタル準拠ノート 高校生の地理総合 デジタル版 定価：980円(税込) セット版(書籍+デジタル) 定価：1,480円(税込)	☐ 「高校生の地理総合ノート」を、タブレット用に再構成。また、オリジナルの問題も収録。 ☐ タブレットに入力した解答は、自動で正誤判定される。 ☐ 先生用管理ページで、生徒の学習進捗状況を確認できる。 ☐ 作問ツールで、新たな問題を作成し、配信できる。

④ 資料集

書 名	販売形態
新詳地理資料 COMPLETE 2024 【特色】 ☐ 地理総合から地理探究までの学習内容を掲載。巻末には共通テスト対策ページを設置。この1冊で地理学習を網羅できる。 ☐ 「地理力+ (プラス)」と解答例の「+ (プラス) のガイド」で基礎・基本はもちろん、思考力・判断力・表現力まで身につけられる。 ☐ 全ページがタブレット端末で見られるクラウド配信版も用意。	●書籍版 定価：1,030 円(税込) ●クラウド配信版 定価：990 円(税込) ●セット版 (書籍+クラウド配信) 定価：1,500円(税込)
図説地理資料 世界の諸地域NOW 2024 【特色】 ☐ 世界・日本の全地域を地誌的に網羅。事例が豊富な「高校生の地理総合」との親和性も高い資料集。 ☐ 学習項目を分野ごとに整理したまとめ表や、地理学習の重要事項を押さえた用語解説や資料も充実。 ☐ 「動画check」では、二次元コードを読み取って地形や風土を扱った映像資料を視聴できる。	●書籍版 定価：1,000 円(税込)

特色一覧

* 下記の表は、帝国書院ウェブサイトで閲覧・ダウンロードできます。

項 目	特 色
総合的な特色	・世界各地のいまの姿が見える臨場感あふれる大きな写真によって、生徒の興味関心を高められ、理解を深める工夫がなされている。 ・本文は、導入資料テーマを生かした書き出しになっているためスムーズに学習に入れる。また、資料との因果関係がわかるよう丁寧に記述されており、地理的な見方・考え方を働かせながら学習できる。 ・世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を、豊富な具体事例を通して学ぶことで異文化理解につながる教科書になっている。
内容	・1部1章「地図や地理情報システムと現代世界」では、地図やGISの活用といった基礎的・基本的な地理的技能を習得できるよう、特設「SKILL」が設けられている。また、デジタル教材を利用するためのQRコードを随所に配している。 ※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。 ・1部2章「結びつきを深める現代世界」では、国家間の結びつきや地域的な枠組みについての理解を深められ、具体事例をもとに学習できるようになっている。また、交通・通信や観光など、グローバル化が進む世界の様子が地図や写真などで示されている。 ・2部1章「生活文化の多様性と国際理解」では、国や地域のイメージが膨らむイラストを用いた地図をはじめ、写真や模式図、図表が豊富に扱われていることで、世界各地にはさまざまな生活文化が共存しており、その背景には地理的環境が大きく関わっていることまで理解を深められる。また、日本と世界各地の生活文化を比較しながら共通点や相違点をみだせ、多様な習慣や価値観をもつ人々との共生について考えを深められる。 ・2部2章「地球的課題と国際協力」では、持続可能な社会の形成に参画する態度を養うことができるよう、食料問題や感染症・衛生問題、地球環境問題など、地球的課題についての具体的な事例が数多く取り上げられている。また特設「アクティビティ」では、日常生活の中で持続可能な社会を形成するために生徒自身ができることを主体的に考えられる。 ・3部1章「自然環境と防災」では、模式図や過去の災害の具体的な地域事例から、日本の自然環境の特徴や災害発生のメカニズム、防災対策までを総合的に学ぶことができる。また、特設「アクティビティ」では、シミュレーションを通して災害発生時に命を守るためにどのような行動をとるべきか実践的な思考力や判断力が身につけられる。 ・3部2章「生活圏の調査と地域の展望」では、自ら発見した疑問や課題を多面的・多角的な視野から考察する態度を養うことができるよう、調査テーマの設定方法や現地調査の手順、調査結果の発表方法について具体的な調査結果例とともに提示されている。
構成・分量	・学習指導要領に合わせて、重要事項がもれなく丁寧に解説されている。また、学習内容を深められるように側注欄の解説や資料、特設コーナーが充実している。 ・原則、1時限1見開き構成となっているので、分量が適量で学習計画を立てやすくなっている。 ・見開きごとに、学習課題→導入資料→展開→確認・説明の流れが明確なため、効果的に学習できるようになっている。 ・特設「SKILL」では、地理学習に欠かせない重要な地理的技能が習得できるようになっている。
表記・表現 及び 使用上の便宜	・人々のくらしが見える写真や、地域の特徴が見える地図・グラフなどの資料が豊富に設けられている。 ・地理的事象の背景や因果関係がわかる本文となっている。 ・ふりがなや重要語句へのゴシック(太字)が効果的に振られている。 ・随所に本文内容を補足する用語解説が設置されており学習しやすい。 ・本文には関連図版・写真の図番号が示されており、資料の活用を促す工夫がなされている。 ・本文行間には関連する事項が扱われているページの参照ページが割り当てられている。 ・グラフなどの統計資料は、新しいデータが使用されている。
ユニバーサル デザインへの対応	・本文や側注、キャプションなどの文字は、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)が使用され、読み取りやすいよう配慮がなされている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮されており、色覚特性をもつ生徒にも読み取りやすい表現になっている。
その他	・紙は環境に配慮した用紙が使用されているほか、裏写りがしない用紙となっている。 ・インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキが使用されている。 ・使用期間の間、破損することがないよう、堅牢なつくりになっている。 ・指導資料やデジタル教科書・教材、準拠ノートなど、充実した関連教材が用意されている。

著作者

青山 弘之 (東京外国語大学 教授)	志村 喬 (上越教育大学 教授)	五十嵐 和也 (東京都立富士森高等学校 主任教諭)
大山 修一 (京都大学 教授)	祖田 亮次 (大阪公立大学 教授)	金田 亜妃子 (東京都立国立高等学校 主任教諭)
小口 高 (東京大学 教授)	堤 純 (筑波大学 教授)	川島 勇行 (東京都立国際高等学校 主幹教諭)
加賀美 雅弘 (東京学芸大学 名誉教授)	仁平 尊明 (東京都立大学 教授)	齋藤 晃 (中央大学附属中学校・高等学校 教諭)
日下 博幸 (筑波大学 教授)	由井 義通 (広島大学 教授)	株式会社帝国書院
小島 泰雄 (京都大学 教授)		

特別支援教育に関する監修・校閲者

丹治 達義 (筑波大学附属視覚特別支援学校 教諭)



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29
TEL 03-3262-4795(代)
URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>



◀ 帝国書院特設ウェブサイト
はこちらから

©Teikoku-Shoin Co., Ltd. 2024